

文化財情報基盤の整備・ウェブサイトの運用 (③企06-15-5/5)

目 的

文化財関係の情報を収集して積極的に発信するため、ネットワークのセキュリティ強化及び高速化等に対応した情報基盤の整備充実を図る。また、システム面から文化財に関する専門的アーカイブの拡充、データベースの充実を支援する。

成 果

1. 情報システムの整備

情報システムの整備は、広報委員会の情報システム部会長・部会員で検討のうえ実施している。平成27年度には日常的なネットワーク管理業務のほか、下記を実施した。

- ア) センタースイッチ及びフロアスイッチを更新した。更新にあたり、機器の選択肢を増し、更新費用を削減するため、フロアスイッチ－センタースイッチ間のケーブルを光からメタルに変更した。
- イ) 無線LANアクセスポイントを増設するとともに、制御用サーバを導入し、運用の安定化を図った。
- ウ) 大容量ストレージ構築のための基本システムを導入した。このシステムは、ストレージを増設することによりペタバイト級の大容量ストレージを構成でき、WWWサーバ等の仮想化のための基礎となる。

2. ウェブサイトの運用

研究所全体の広報、研究情報の発信の一環としてウェブサイトの運用を行っている。各部・センターのサイトは各担当者が更新する一方、催事や刊行物等の更新情報は研究所ホームページからリンクし告知することで、情報発信の効率化と有効化を図っている。ウェブサイトの軽微な変更、データベースへの情報の追加、情報発信は随時実施している。

- ア) 広報・普及に関して、「活動報告」(日英2カ国語)のWordPressへの移行を実施し、年月や部門などの項目による分類及び全文の検索が可能となった。また、メールマガジン(日本語)、Facebook及びTwitter(いずれも日英2カ国語)により、国内外の文化財関係者に対して活動報告や催事などウェブサイトの更新情報を中心に提供している。
- イ) 昨年度の黒田記念館ウェブサイトのリニューアル及び「黒田清輝日記」のWordPress化に続き、「黒田清輝作品集」をWordPressに移行、データベース化した。
- ウ) WordPressによるデータベースを引き続き随時整備・公開した。新たに公開したデータベースは上記のほか「白馬会関係新聞記事」「『美術画報』掲載図版データベース」である。
- エ) ウェブサイトへのアクセス(訪問者数)は1,941,504件であった。

3. 研究成果の発表

- ア) 2015東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 奈良で、文化財アーカイブズ研究室と共同で東京文化財研究所の文化財アーカイブ構築に関して発表した。
- イ) 2016(平成28)年3月23日に開催された研究会で、文化財データベース・アーカイブに関する東京文化財研究所の取り組みについて報告した。

ウェブサイトアクセスランキング(平成27年度 上位10位まで)

1	全体 index	6	黒田記念館全体
2	『日本美術年鑑』掲載物故者記事	7	ガラス乾板データベース
3	『保存科学』PDF	8	『無形文化遺産研究報告』PDF
4	黒田記念館資料編(日記、書簡、作品一覧等)	9	研究資料データベース
5	『日本美術年鑑』掲載美術界年史(彙報)記事	10	企画情報部全体

ウェブサイトの主な更新履歴（定期刊行物の公開、活動報告、公募情報を除く）

年月日	更新内容	関係部局
15.4.10	「これからの文化財防災―災害への備え」公開	文化財レスキュー受託事業研究会事務局
15.5.13	「「かたち」の生成をめぐって―イケムラレイコの場合」開催案内	企画情報部
15.6.17	デジタルブック版『未来につなぐ人類の技 14 近代テキスタイルの保存と修復』公開	保存修復科学センター
15.8.7	黒田記念館所蔵黒田清輝作品集 公開	企画情報部
15.9.1	『文化財展示収蔵施設におけるカビのコントロールについて』公開	保存修復科学センター
15.9.28	第49回オープンレクチャー モノ/イメージとの対話 開催案内	企画情報部
15.10.13	無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究会Ⅱ「染織技術の伝承と地域の関わり」開催案内	無形文化遺産部
15.10.16	「東南アジアの遺跡保存をめぐる技術的課題と展望」開催案内	文化遺産国際協力センター
15.10.20	白馬会関係新聞記事 リニューアル公開	企画情報部
15.10.20	第10回無形文化遺産部公開学術講座「邦楽の旋律とアクセント―中世から近世へ―」開催案内	無形文化遺産部
15.10.22	海外における日本美術関係資料担当者との交流会 開催案内	企画情報部
15.12.11	第29回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「近代文化遺産の保存理念と修復理念」開催案内	保存修復科学センター
15.12.18	シンポジウム「紛争と文化遺産―紛争下・紛争後の文化遺産保護と復興―」開催案内	文化遺産国際協力センター
16.1.6	『臭化メチル全廃から10年：文化財のIPMの現在』公開	保存修復科学センター
16.1.19	「文化財の保存環境」に関する研究会「実験用実大展示ケース用いた濃度予測と浄化技術の評価」開催案内	保存修復科学センター
16.1.21	2015年ネパール・ゴルカ地震による被災文化遺産に関するセミナー 開催案内	文化遺産国際協力センター
16.1.21	「ファラオの至宝をまもる」―大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト終了記念報告会 開催案内	文化遺産国際協力センター
16.2.10	「「かたち」の生成をめぐって―イケムラレイコの場合」公開	企画情報部

発表

- ・山梨絵美子ほか「文化財研究情報アーカイブの構築―東京文化財研究所の取り組み」2015東アジア文化遺産保存国際シンポジウムin奈良 奈良春日野国際フォーラム 薨〜I・RA・KA〜 15.8.27-28
- ・福永八朗「東文研の文化財データベース」文化財データベース・アーカイブの構築と活用に関する研究会 東京文化財研究所 16.3.23

研究組織

○二神葉子、山梨絵美子、津田徹英、塩谷純、小林公治、小林達朗、皿井舞、安永拓世、橘川英規、城野誠治、福永八朗、小山田智寛、高橋佑太（以上、企画情報部） 広報委員（情報システム部会）：川野邊渉（文化遺産国際協力センター長） 各部門情報システム部会員：平出秀文、中濱拓郎（以上、研究支援推進部）、皿井舞（企画情報部）、飯島満（無形文化遺産部）、吉田直人（保存修復科学センター）、加藤雅人（文化遺産国際協力センター）